

# 福山市婦連と中央公民館企画

## 熱気あふれる女性リーダー養成講座

公私とりまぜて講演会や学習会のお知らせを目にするのが多くなった。知らなければ何も始まらない。学ぶことは大切な。そんな思いを抱く人は少なくないはずだ。女性の地位向上を目指して活動している福山市連合婦人会が市中央公民館とタイアップして開講した「国際社会に対応できる女性リーダーの養成講座」には、毎回八十人前後の女性が出席している。学びたいと思う女性は何を求めているのだろうか。(上村洋子)

# アジアをもっと知りたい

市連合婦人会の講座は毎月一回。六月に始まり、八月を除いて十一月まで計五回の予定。来年十月の広島アジア競技大会にむけて、日本を取り巻く近隣諸国の現状を学び、交流実践の足

## 実践・体験談求める

がかりをつくらうという狙いだ。

七月に行われた第二回は、アジア医師連絡協議会(A.M.D.A)の活動から民間の国際協力を考えようという内容だった。深安郡神辺町出身の医師でA.M.D.A代表の菅波茂さん(四二)岡山市糟津は、インド、ネパール、カンボジアなどのアジア諸国や、アフリカのソマリアでの体験を情熱的に、しかも軽妙に分かりやすく語った。無医村を希望する医者はかつては赤ひげ先生。今ではA.M.D.A参加者の再就職が不利になることもあるなど困難を抱えています。しかし、もう十年もすれば、

政府、企業そして医師たちの意識も変化し、日本は国際民間協力団体の大国となるでしょう。これからは多様性の共存の時代。これまでにアジア、アフリカの貧困を強調し、良心に訴えて免

参加者たちはハイレベルな話題に眼を輝かせて聞き入った。圧倒的に四十代以降の人が多いが、若い人もちらほら。福山市横尾町の犬の美容師藤井弘子さん(三三)は「中国人留学生と交流があるので、もっとアジアのことを知りたい」と参加した。「マスコミなどでいろいろ知る

機会は増えたのですが、体験者から直接



## 受講者公募で若年層も参加

罪符のようにホランテイヤ資金を調達してきたが、これからは、偉大なクメール文化につながるカンボジア人、といった精神文化を尊重するかわかりをもつことが大切)

今回の講座は、婦人会にとつても新しい試みである。市連合婦人会会長の佐藤元美さんは「婦人会は女性の地位向上を目指し、十年前から毎年、五つのブロックに分けて、女性講座を続け

用しているという。「子供が中学生にもなると子供から学ぶことが多い。難民や貧困にあえぐ人たちにお金を寄付しても、この背景を説明できません。子供が成長するにつれ親も成長した若い女性の姿もあった受講者たち

い」とうなずき合う。参加者たちは貴重な時間をさいて受講している。物事を知らなかった自分を知り、知る喜びを実感している。そして「自ら出て、吸収していくときだ」と顔を輝かす。

千五百人あまりが参加してきました。しかし、歴史的背景もあり女性の地位向上は浸透しない。そこで対象を婦人会員に限定せず、公募という形で自ら学ぶ人を募集しました」と説明する。学ぶ人たちの対象拡大の試みは、少ないながらも、若い人の参加がえられた。

公募を受け付けた中央公民館の社会教育主事池田敏彦さん(四三)は、子連れて参加できるのか、講座終了後何かしなければならぬか、などの問い合わせがあったという。講座の内容、時間設定、保育設備など今後の課題はあるが、講座を続けることに意義があると思ふ。最終日にアンケートをとつてみたい」と見守る。

十月は「日中の生活習慣」が連う、十一月は「東南アジア人びとの交流」を予定している。問い合わせ先 中央公民館 ☎0849(31)1741



福山市連合婦人会が開いている「国際社会に対応できる女性リーダーの養成講座」。講師はA.M.D.A代表の菅波医師

聞か話は詳しくてもおもしろく関心が深まります」と言う。福山市加茂町の峰松和子さん(四二)と同伊勢丘の荒木芳子さん(四二)も、いろいろな学習の機会を積極的に利用

先 中央公民館 ☎0849(31)1741